



輝け志賀っ子

小松学区
木戸学区
和邇学区
小野学区

ごあいさつ



大津市北部4学区が協力して子育てと地域づくりに取り組んで8年が経過しました。この間、先駆的な役割を果たすうちに、地域住民参画型教育(コミュニティスクール)が始まり、昨年末には市議会で「コミュニティセンター条例」が可決され、地域住民による安心安全と、子育て、地域づくりの新しい運動のうねりが確実に始まろうとしています。今後なお一層、本会が北部地域、志賀中学校区において重要な役割を担うことが期待されます。この新たな状況に対応した活動の見直しや課題や目標の再検討は避けられないことでしょう。幼児・児童・生徒たちがいきいきと生活し、活動できる環境づくりにみなさんの知恵を集め、地域のさまざまな取り組みが相乗的に力強い活動へと進展していくよう、ともども努力を重ねてまいりましょう。

志賀わがまちづくり市民運動推進会議・地域子育て推進協議会 会長 内田成康

令和元年6月8日(土) 総会

講演 「はやぶさ君とはや2君の冒険」

宇宙航空研究開発機構 元職員
おのせ 直美 氏



宇宙航空研究開発機構には二つのグループがあります。一つは、「宇宙がどのようにつくられたのか? それを知りたい」という理学系のグループです。もうひとつは工学系研究者のグループです。「新しい材料、機械、技術を尽くしてすごいものをつくりたい、それを使ってみたい、それも宇宙のような特殊な環境でやってみたい」というグループです。この二つのグループが冷静で情熱的な、徹底的議論をしながら、ミッション(任務・使命)を形にしていきます。ロケット、人工衛星を作るグループ。衛星の構造体、通信関係、データ処理等のグループ。自分で考える「頭脳」を作るグループ。姿勢(向き)制御も、電源系も、熱制御(いわば体温調節)も極めて重要です。ロケットの自力推進、軌道修正、姿勢制御さらには地上との通信等も自分でできるようにする。「はやぶさ君」の飛躍的な軽量化を実現したのは特定のガスを電気処理して推進力とさせた工学系研究者のグループの成果です。飽くなき議論と工夫・実験・実証の連続でした。こうして「はやぶさ君」、そして「はや2君」は「冒険」に旅立ちました。「はやぶさ君」が持ち帰ったものは現在解析中です。あの「月の石」でさえ今も解析中です。今年、まもなく「はや2君」が帰ってきます。今後も新たなミッションのもと、研究は続きます。



志賀子ども憲章

私たち地域住民は、

- 1. 子どもたちに思いやりの心が育つ、みんなで助け合う、いじめのないまちをつくりましょう。
- 1. 子どもたちが元気に育ち、みんなが安心安全にらせるまちをつくりましょう。
- 1. 子どもたちの夢への努力と挑戦を、みんなで応援するまちをつくりましょう。
- 1. 子どもたちを見守り、みんなで子育てにかかわるまちをつくりましょう。
- 1. 子どもたちとともに、ふるさと志賀の自然と伝統文化を大切に作るまちをつくりましょう。



ストップ・ザ いじめ

相手の心を傷つける行為言動は、許されません。
あなたの一言の言葉がけが命の輝きを助けます。

「家族ふれ愛フェスタ」

開催日
会場

令和元年11月30日
和通文化センター



今年も「家族ふれ愛標語」に、微笑ましい家族の光景や家族を大切に思う気持ち、家族の中で自分を見つめる作品など多くの標語が寄せられました。その数1381作品。各校各学年ごとに選考が重ねられ、選抜された作品82点をさらに選考して、右の10作品を優秀作として「家族ふれ愛フェスタ」で表彰式を行いました。



「イジメはいけません」と言うだけでイジメがなくなるものではありません。その意識は、日々の営み、家庭や学校・地域での一コマ場面の中で育まれるものですから、機会あるごとに確認が必要になります。「家族ふれ愛標語」や「わが家のルールづくり」の取り組みなどがその一つであることは言うまでもありません。さらにコミュニティスクールとの連携など時宜になかった目標や方途に工夫改善を重ねる必要があります。各団体の意思疎通と共同認識の形成も大切な課題でありましょう。

ばんきせい えがおあふれる はなびかな
てれびなし おはなしはずむ よるこはん
ばんごはん きょうのできごと はっぴよう会
帰ってる！ 家の中から パパの声
ばあちゃん キラキラ野菜が 元気のみなもと
ありがとう 家族のぬくもり あふれだす
手をひろげ ギュッとだきしめ 家族愛
「おかえりー」「だいまー」心が和む 私の居場所
ありがとう そのことばにも ありがとう
標語づくり 笑顔あふれる 家族の会話

井上 彩未	村上 大葵	渡辺 真規	柴田 楓音	朝倉和花子	平田 夢依	杉野香奈美	澤井 心優	橋本 しほ	國金 快吏
志賀中学校 第3学年	志賀中学校 第2学年	志賀中学校 第1学年	和通小学校 第6学年	小野小学校 第5学年	小松小学校 第4学年	木戸小学校 第3学年	和通小学校 第2学年	小松小学校 第1学年	小松小学校 第1学年

わが家のルールづくりの取り組み

「わが家のルールづくり」の取り組みを始めて、本年度で4年目となります。この取り組みは、志賀中校区のすべての保育園、幼稚園、小学校、中学校で取り組みを進めています。各家庭でわが家のルールについて話し合い、それを各家庭で見やすいところに掲示し、できていることはお互いにほめ合い、できていないことは改善の方法を家族で話し合いながら、日々の家庭での会話を広げるという方法で取り組んできました。夏休みをきっかけとして、年間を通して各家庭で取り組んでいます。

目的

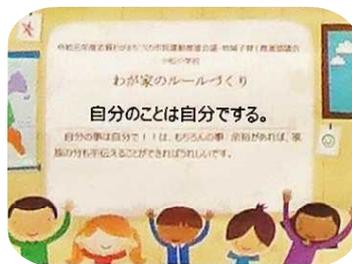
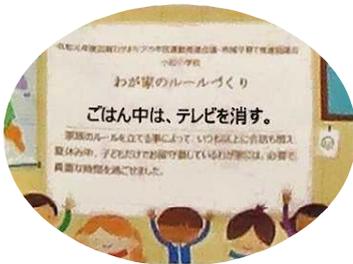
- 家族で話し合うきっかけづくりとする
- 家族の絆を深める一助とする
- 家族の大切さや家族愛を育む心をつなげる
- 青少年の健全育成に関する地域連携を深める

成果と課題

成果	<ul style="list-style-type: none"> ● ルールをつくるために、家族での話し合いができた。 ● 夏休みの生活を送る上で、毎日意識して生活できた。 ● 夏休みは、学校から家庭に戻る期間であるので、家庭での過ごし方や家族のあり方について、子どもたちが改めて考えるよい機会となった。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 多少マンネリ化し始めている。 ● インターネットやSNSに関わる内容を含めてみるのもよい。 ● 標語や家族のルールは、よい物がたくさんあるので、看板や垂れ幕として広報できればよい。

「わが家のルール」づくり

言葉を交わすことは家族を繋ぎ、人と人を繋ぎ、地域を繋ぎ、国を越えて世界をも繋ぎます。それは家族、地域から始まり、育まれます。言葉を交わすことは心とこころを繋ぎます。それがどれほど大切なことか、誰しも知っていますが、いついつい当たり前のこととして慣れてしまい、その能力を駆使し、鍛えることを忘れがちになってしまいます。ある意味、「おしゃべり」は美德だと言えるでしょう。人を傷つけるコトバもありますが「信」で繋ぐのが言葉です。個人のこころの中で、家族の中で、学校・地域の中で。



わが家のルール 志賀中学校

【家族のルール】

- ◎あいさつをする
- ◎家事を分担して行う
- ◎帰宅したら、手洗い、うがい
- ◎うそはつかない
- ◎家族と一緒に過ごす時間を作る
- ◎報告・連絡・相談を行う
- ◎早寝・早起き・朝ご飯の習慣をつける
- ◎人に迷惑をかけない
- ◎食事中はテレビやスマホを見ない
- ◎家族のコミュニケーションを大切にする
- ◎「ありがとう」をいっぱい言う
- ◎姉妹兄弟が仲良くする
- ◎家族そろって食事
- ◎整理整頓を心がける
- ◎やさしいことばを遣う
- ◎家族の健康に気を配る
- ◎自分のことは自分でする
- ◎規則正しい生活を送る
- ◎午後11時には消灯する
- ◎ペットの世話は家族全員で
- ◎常に笑顔で暮らす

【私のルール】

- 携帯電話をリビングに置いておく
- 優先順位を考えて行動する
- 体カトレーニングを必ず行う
- 約束事は必ず守る
- 毎日必ず勉強する
- 一日一回は家のお手伝いをする
- スマホやゲームは夜の9時までとする
- 自分の健康は自分で守る
- 食事は残さずに全部食べる
- 時間のけじめをつけて生活する
- 部活動に休まず参加する
- 地域の人にあいさつをする
- 言葉遣いに気をつける
- 睡眠時間をしっかりと確保する
- 自分の行動には責任をもつ
- 常に相手の気持ちを考えて行動する
- 身の回りの整理整頓をする
- 何事にも目標をもって取り組む
- 初志貫徹
- 早寝・早起き
- 人の悪口を言わない

取り組みの感想

〈小学生〉

私の家族のルールは、あいさつをきちんとするでした。よくあいさつしたのは、「おはよう」でした。初めはあまりできなかつたけど、だんだん慣れてきたら、言えるようになりました。しかし、家族にならあいさつはできるけど、知らない人、近所の人とかにははずかしくてできませんでした。終わってみて、知らない人にもあいさつできるようにしたいと思いました。あいさつは、いろんな人とつながることができると思いました。来年は、知らない人にも、自分から聞こえる声であいさつすることを目標にがんばりたいと思います。

〈中学生〉

ルールをしっかりと決めて、意識して生活することは重要だと思いました。家族共通の大切なルールがあれば、お互いに注意し合って意識できるのでとてもよいと思います。それに加えて、自分に必要なルールを自分で考えておく自分のためになると思うのでしっかりと考えたい。これらのルールをしっかりと守って明るく楽しい生活を送りたいです。

〈保護者〉

中学生になってできることも増え、夏休み中いろいろな家の仕事をしてくれました。ルールは誰かに見られているから守るのではなく、自分の心で守っていくもの、夏休みが終わっても「わが家のルール」を一緒に決めていきたいです。



第6回

比良山麓子ども会議

～よりよい町をつくるために、
私たちにできることは何だろう～

令和元年11月30日（土）和邇文化ホールにて、第6回比良山麓子ども会議を開催しました。当日は、志賀中学校区の4小学校、1中学校の児童会、生徒会の子どもたちが一堂に会し、「よりよい学校を目指しての各校の取り組み」を発表し、意見交流も行いました。

また、子どもたちの頑張りを応援しようと、100名を超える地域の方々も参加していただきました。参加された方からも各園各校の取り組みに対してご意見をいただき、子どもたちの励みとなりました。このように志賀中学校区の各園各校が交流すること、地域の方々と交流することによって、志賀中学校区全体としての取り組みになり、今後につなげていきます。



志賀わがまちづくり市民運動推進会議の最大のテーマであります、「いじめのない町づくり」。過去、このテーマの実現に向けて多くの取り組みを実施してきました。今年度は志賀ブロックの各校での取り組みを発表し、「私たちにできること」についてみんなで考えました。各校での取り組みについて、子どもたちが一生懸命に説明する姿からは、「何とかしていじめをなくしたい」「全校生徒が安心して過ごせる学校をつくりたい」と思いがあらわれてくるようでした。児童会で作成した「いじめ防止ビデオ」や「木戸っ子ソング」、「マスコットキャラクターを生かした活動」や自作のスライドショー、ピンクシャツデーの取り組み等を紹介してくれました。

上記の取り組みの発表の後、「やりがいや手応えを感じた取り組み」、「他校の取り組みで参考になった点」など子どもたち同士での意見交流をもちました。今後よりよい取り組みをするためのビジョンが見えてきたようです。また、子どもたちを支える大人も、子どもたちの取り組みを知ることで「大人にできること」も考える機会になりました。



今年度は「家族ふれ愛フェスタ」「比良山麓子ども会議」と合同で開催しました。その中で志賀中学校の吹奏楽部による演奏も行いました。50人を超える大きな編成での演奏はとても迫力がありました。また、楽しんで参加できる曲も多くあり、会場全体が一つとなったライブ会場のような感じでした。

吹奏楽部は地域での演奏会だけでなく、12月に行われた「アンサンブルコンテスト・大津地区予選」では見事金賞を受賞し、県大会へと進むことができました。3月には、第43回志賀中学校吹奏楽部定期演奏会を開催する予定です。今年一年の集大成としてお世話になった方々へ、明るく、さわやかな志賀中サウンドをお届けできるようさらに練習に励みます。

その他いくつかの取り組み

地域の子どもたちとのきづな



木戸秋まつり園児・児童作品展
11月9・10日（土・日）参加者約60名
【小松・木戸学区青少年育成学区民会議】



わにっ子 デイキャンプ
7月6日（土）参加者152名
【和邇学区青少年育成学区民会議】



子育て支援事業 書き初め大会
1月4日（土）参加者56名
【小野学区社会福祉協議会】